広報みたか
MITAKA City Information
No.1684 | 令和3年 | 2021.2.7

©2001
スタジオジブリ

毎月第1・第3日曜日発行
広報みたかはシルバー人材センターの会員がお届けしています。

発行:三鷹市／編集:広報メディア課
〒181-8555 三鷹市野崎1-1-1
法人番号:8000020132047
市役所電話(代表)
☎0422-45-1151
ホームページ
https://www.city.mitaka.lg.jp/
公式Twitter
https://twitter.com/mitaka_tokyo

今号の紙面から

成人式の貸衣装キャンセル料を助成します …… 3面
三鷹の森アニメフェスタ2021 …… 6面
みたかバーチャル市民駅伝大会参加チーム募集 …… 7面
市からのお知らせ …… 11面から
YouTubeで配信中 市制施行70周年記念動画 …… 12面

新型コロナウイルス感染症 三鷹市独自の取り組みをお知らせします

緊急事態宣言の再発令を受けて、「オール三鷹」で医療崩壊の危機を乗り越えていくため、市内飲食店など多くの事業者のご協力をいただきながら、市民の皆さんにも不要不急の外出の自粛など大変なご不便をお掛けしています。今号では、1月13日付で取りまとめた「新型コロナウイルス感染症　三鷹市緊急対応方針(第5弾)」に基づき、市が独自に取り組む感染症対策をお知らせします。

問企画経営課☎内線2112

新型コロナウイルス ワクチン接種体制の確立

人員体制の整備

臨時的な横断組織として、市長を本部長とした「三鷹市新型コロナウイルスワクチン接種実施本部」を1月1日付で設置し、62人体制で取り組みを進めています(写真)。今後、接種が始まる段階では各関係団体などとも連携を図りながら、円滑な住民接種を実施します。

準備経費とワクチン接種費の予算計上

接種の優先順位が高い医療従事者等と65歳以上の高齢者の接種費用や、接種券(クーポン券)の発送に必要なシステム改修費と郵送に関する経費などを、1月25日の市議会臨時会に補正予算として計上し、承認されました。そのほかの経費は、国から詳細が示され次第、予算計上する予定です。

飲食店への支援

飲食店応援キャンペーンの実施

緊急事態宣言により厳しい経営状況に置かれている市内飲食店を応援するため、1月28日に『広報みたか』特集号を発行しました(写真)。宅配やテイクアウトが利用できる市内飲食店をお知らせしているほか、アルバイト先の休業などで収入が減少している学生が料理を宅配する「デリバリー三鷹」の取り組みを紹介しています。

飲食店の業態転換支援の拡充

宅配やテイクアウトの導入・拡充に必要な経費を助成する制度の申請期間を延長し、補助金額の上限を引き上げています(2面参照)。

「成人を祝福するつどい」の中止への対応

「令和2年度三鷹市成人を祝福するつどい」は、同感染症感染者の急増を踏まえ、1月4日に急きょ、中止することとしました。そのため、出席を予定していた新成人を4～12月に三鷹の森ジブリ美術館へ招待します。また、貸衣装のキャンセル料が生じた新成人を対象に費用を助成します(3面参照)。

障がい者および事業所への支援の拡充

非接触型のコミュニケーション支援の拡充

接触機会を減らしながらもコミュニケーションを円滑に行うため、市役所の各窓口に設置している筆談ボードの数を倍増させ、当事者と職員がボードの受け渡しをすることなくコミュケーションを取れるようにしました。

障がい者福祉施設の販路拡大支援

市内の障がい者福祉施設などで制作している自主製品は、販売会の中止などにより販売機会が減少し、各事業所に影響が生じています。そこで、新たな販路拡大を支援するため、インターネット販売に向けたホームページの改修やPR用のポスター・チラシの作成に係る経費を助成します。

生活困窮者の緊急一時宿泊所の確保

同感染症の影響による失業などにより住宅を失った方へ東京都が一時宿泊施設を提供しています。しかし、都が提供する施設を利用できない場合も想定されるため、民間宿泊施設を利用する場合の宿泊料を支給します。

市長コラム

油断せずに、頑張りましょう！

三鷹市長
河村　孝

昨年2月の頃は、新型コロナウイルス感染症の発症者数は10万人に1人ぐらいで、まだまだ大丈夫だという声が大半でした。それが一転して、4月に感染が急拡大して「第1波」となります。保健所長などが三鷹市を訪れ、私や医師会の役員の方に「医療崩壊寸前なので、ぜひご協力を」とSOSを発せられました。その後のPCRセンターの設置や重点医療機関の拡充などの一連の対策は、このときのSOSに端を発したものです。

昨秋には「第2波」。ようやくそれも収まったと思いきや、今度は年末からの「第3波」の襲来。さらに年明け早々から現在に続く、国の2回目の「緊急事態宣言」。息つく暇もない展開です。今年のお正月は天候に恵まれ、一見のどかな風景のようにも感じられましたが、一方で目に見えない「ウイルスとの闘い」が繰り広げられている。このギャップこそが台風や地震とは違う今回の大きな特徴です。

もうすぐワクチン接種が始まります。私たちも油断せずに、マスクや手洗いの徹底などの基本を守り、頑張りましょう。冒頭、昨年4月の「第1波」のことを書いたのは、そのためです。気を緩めれば、さらに広がる可能性が今もあります。三鷹市でも1月1日にワクチン接種実施本部を立ち上げ、国からワクチンが供給され次第、速やかに接種を開始できるよう準備をしています。皆さんのご協力をお願いします。